

令和元年度第2回浜松市文化財保護審議会 議事録

- 1 開催日時 令和元年12月19日(木) 午前10時00分から11時40分まで
- 2 開催場所 引佐協働センター 2階 会議室1・2
- 3 出席状況 出席委員(委員8人中8人出席)
笹原 恵 会長、西田 かほる 副会長、小木 香委員、片桐 弥生 委員
篠原 和大 委員、中谷 悟 委員、中山 正典 委員、藤下 章男 委員
事務局
太田文化財課長、鈴木課長補佐、佐藤保護活用グループ長
- 4 傍聴者 1人(うち報道関係者1人)
- 5 議 事 令和元年の文化財保護事業について
- 6 作成者 文化財課 佐藤
- 7 記録方法 発言者の要点記録
- 8 議事録署名人 笹原恵会長、篠原和大委員
- 9 会議記録
 - (1) 開会
(事務局より開会の宣言)
 - (2) あいさつ
(会長あいさつ)
(文化財課長あいさつ)
 - (3) 議事
会長(笹原)
 - ・「浜松市文化財保護条例」第49条第2項に定める審議会の開催要件(半数以上の出席)を満たしていることの報告
 - ・議事録署名人として、篠原委員を指名
 - ・「浜松市附属機関の会議の公開に関する要綱」により、会議の一部非公開について出席全委員に

よる議決

(令和元年度の文化財保護事業の報告について)

事務局（課長）

- ・光明山古墳：もともと県の指定史跡であったが、今年 11 月 15 日に開催された国の文化審議会において、国の史跡に指定するよう文部科学大臣に答申がされた。これを受けて、今年度中に国指定の官報告示がされるものと予想している。
国の史跡化は、一昨年の二俣城跡及び鳥羽山城跡に続くもので、その前となると昭和 34 年の蜷塚遺跡、昭和 19 年の三岳城跡まで遡る。策定中の歴史的風致維持向上計画にも大きな後ろ盾にもなると考えている。史跡に指定されて終わりということではなく、古墳の活用についても文化財保護審議会の皆様とも協議をしてみたい。
- ・浜松城跡の発掘：今年度、第 26 次と第 27 次の調査を実施。第 26 次調査は、旧元城小学校跡で、浜松城の二の丸跡を中心とした区域。堀跡、礎石、お誕生場などが発見されている場所で、令和元年度は試し掘りの段階だが、二の丸があったことは確定したと考えてよい。10 月に開催した現地説明会には、雨の中、400 人を超える参加があった。来年度も調査を継続するので、また進捗があったら報告する。第 27 次調査は、民間の開発に先立つ調査で、浜松城の三の丸があった場所と考えられている。北側と西側の 2 箇所堀跡が発見されるなどの成果があり、引馬城と引馬城下の一端が発見されたと認識している。それぞれ報告書を作成するので、その完成を待って、文化財保護審議会にも必ず報告する。
- ・宝林寺仏殿の保存修理：9 月 23 日に工事現場の見学会を開催。江戸時代の建物の構造など、97 人の参加者にご覧いただいた。今後も公開事業を継続していく。
- ・首里城の火災を受けて：文化庁から防火対策のガイドラインが配布されたので、重要文化財の所有者に配布したところである。今後も文化財防火デーなどの機会をとらえて、注意喚起をしていきたい。
- ・大福寺庫裏（北区三ヶ日町）が国の登録有形文化財に登録された（12 月 5 日に官報告示）。

笹原会長

宝林寺の見学会に 97 人の参加があったとのことだが、地元の方が多かったか。

事務局

9 月の見学会には、浜松全体から参加いただいたと認識している。

[以下、非公開事項につき省略]

会長（笹原）

ここからは市の検討事項に係る情報につき、冒頭で議を経たとおり、非公開とする。

(その他事務連絡)

- ・次回（第 3 回）は、令和 2 年 2 月に市役所で開催予定。認定文化財の審査等を行うので、2～3 時間程度の予定。

(閉会)

(文化財課長より閉会の宣言)

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印